
狂愛それは思想相愛

カヲル君を愛して

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

狂愛それは思想相愛

【ZPDF】

Z0780BA

【作者名】

カヲル君を愛してる

【あらすじ】

『あたしは赤也のことがだあああいすわ』

「俺は魅亜の事がだあああああいすき」

『「歪んでもいいそれがあたし／俺達の愛し方」』

狂愛です赤也はキャラ崩壊してます

中編かな？

なるべく精神年齢が20超えてる方がいいかも

め (小学2年生) (読書)

あおむつてるな～うば～

あたしはあかやがすめかあかやがすめかあかやがすめか
あかやがすめかあかやがすめかあかやがすめかあかやがすめか
あかやがすめかあかやがすめかあかやがすめかあかやがすめか
あかやがすめかあかやがすめかあかやがすめかあかやがすめか

でもまわりはおかしいでいい
おれはあたしのかんがえが？？
でもねあかやもねわたしがすきなんだよ。
なんでわかるのかって？
だつていまも・・・・・ね？

『あかやだまああああいすめ』

「おれもだまああああいすめ」

め?

だからあたしのじゃませやせなこよ。

それがたとえおやでも

いじめてあげるからね？

～赤也 s.e.e～

おれはみあがだああああいすき
たとえからだがこねりともみあだけははなれない
はなしてつてこつてもはなれない
じかんがたつてもはなさなこ

おやがじゅまあのならゆりこやなく

わわしたこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
したこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
こわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
してこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
こわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
してこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
こわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
したこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
こわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
してこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
こわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
こわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
してこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
こわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
こわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして
してこわしてこわしてこわしてこわしてこわしてこわして

＼ side out ／

たとえだれかががじやまをしようともあたし／おれもじぶんのからだが
がきずつこうともじぶんできずつけようとも

ぜつたいこはなさないしはなしてなんかあげない

ひらがな (小学2年生) (後書き)

ひらがなああああああ～～
よみにくかったらすみません

あんた等には分からぬ

分かるはずもないわかつてほしくもない

あたしは赤色が好きなのに
好きで好きでしうつがないのに
なんで？？

「赤也の未来のためにも、もう会わないで」

「お願いだ」

「ただでさえ手が付けられなくなつてゐるのに」

「やつぱし思考回路が狂つてゐる子と一緒に居させたのが間違いだつたんだわ」

なんであんた等にそんなこと言われなくちゃいけない？

ああこれであたしは

ケルツテシマウ

彼もあたしもきっと

カル・テイクンタ

赤せ

ああ今笑えてなしな
声が震える

別れたくない別れたくない別れたくない別れたくない別れたくない
別れたくない

「ん? なんだ魅亞」

『つああ・・・・あのねあたし・・・・赤也と居れなくなつちゃつたよつ！—グスツ』

「なんだよそれ！……！」

やつぱり怒るよね

『あのねつ親と一緒に海外に行く事になつたんだよ
赤也と離れたくない離れたくないよおーーー(泣)』

「俺もいやだ一緒に立海行くつて約束したじゃんかよつ」

『だからねあたしどんな方法を使つても

高校は立海に行くから待つて

約束だから

あたしあ指切りと言つた

「約束だからな」

そつ言つて指切りをする

【指切りげんまん嘘ついたら】「おーロス

【指切つた】

あたしは自傷行動をしよう
俺も自傷行動をする

それあで偽りの仮面をかぶり続けて

赤也のモトに戻る
魅亞を待つ

小さく誓つた狂つた約束

よ (小学6年時) (後書き)

指切りげんまんの歌が怖いな～～
WW

う（中学3年）

赤也サイド

あああれから随分経つた。

あの後から俺は、『元気のいい少年』の仮面を被り続け……テニス部に入った。

青学・氷帝・四天宝寺……などの強豪校と戦った1年前、

1年経つのは早かった。

先輩達は高校に行つた。

そして今日俺は待ちに待つた、卒業の日。

これでもう『仮面』を被らなくていい。

有りのままを受け入れてくれる「魅亞」がくる

それだけで嬉しい

テニスはどうする？

続けるか

続けないか

自問自答する。

ああ・・・・・やめよつ

俺には魅亞だけで十分なんだ

仁王先輩にはバレてるかもしれない

ああ そうだ・・・・・・・ 明日呼ばれてるんだっけ?

先輩たちに

パーティでも開くのか?

まあどうでもいい

明日になつたらわかる事だ。

サイドアウト

幸村サイド

今日で赤也が中学を卒業する

それを知っている俺達は今部室に集まっていた

「仁王、君は赤也に違和感を覚えたことはあるかい？」

「正直言つていつも違和感を感じるぜよ
いつも無理して笑つてゐるよつて見えるダーラー」

やつぱり彼も違和感を感じていたのか

「？？違和感だと？それはどいつもことだ？」幸村

「真田・・・俺は・・・たまに思うんだ・・・本当に赤也はここにないんだって、いつも感じていたんだよ、心の距離をね？」

「そうですか・・・正直私もどとか違和感を覚えていましたが・・・仁王君と幸村君も感じていたとなると本当なんでしょうね」

柳生はメガネをいじりながら言つ

「俺も思つて赤也が何か隠している確率99%だからな」

珍しく開眼しながら言つ蓮

「俺は知らねえぞい。赤也は明るいじゃんかよい？」

ホントに丸井は鈍感だな

「俺聞いたことがある」

えつ？？と俺は思わず声を漏らした

「ジャッカル何をだい？」

「いやな・・・クラスの女子が前行つてたんだよ・・・
『本当の赤也君は何処にいるんだろう？』って

それに俺聞いたまつたんだ。

『魅亞いつになつたらお前に会える？』って独り言をな・・・

「

ジャッカルは重い口を開けて言った

「まあとにかく明日話を聞いひ。それで真実が分かるはずだよ？」

と俺が言つて今日は別れた。

」の判断があつてこらと願つて・・・・・

サイドマウト

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0780ba/>

狂愛それは思想相愛

2012年1月8日22時49分発行